

2015年3月期 決算説明会資料

ブラザー工業株式会社

2015年5月7日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2015年3月期決算のポイント

売上高

■ 7,072億円 (+14.7%)

産業機器及び家庭用マシンが売上拡大を牽引

営業利益

■ 575億円 (+32.9%)

円安効果に加え、産業機器が大幅な増益に

経常利益

■ 516億円 (+44.8%)

為替予約関連の損失が縮小

税前利益

■ 654億円 (+95.1%)

不動産売却益の計上により、大幅増益に

当期純利益

■ 540億円 (+180.8%)

税前利益増、税効果会計の影響により、大幅増益に

()は対前年増減率

2015年3月期決算のポイント

P&S

■ 売上高 4,743億円/+10.1% (+4.3%)

アジア・欧州が堅調も、日本は需要低迷

P&H

■ 売上高 514億円/+18.9% (+11.9%)

高価格帯新モデル投入により、売上が拡大

M&S

■ 売上高 1,006億円/+59.5% (+53.4%)

産業機器がIT向け/自動車関連向けとも好調に推移

N&C

■ 売上高 490億円/+2.9%

カラオケ店舗事業は堅調も、機器販売が弱く、微増にとどまる

工業用部品

■ 売上高 174億円/+8.4% (+7.1%)

国内需要は堅調。北米向けも拡大

%は対前年増減率/()は現地通貨ベースの対前年増減率

中期戦略CS B2015の達成が視野に

CS B2015 最終目標

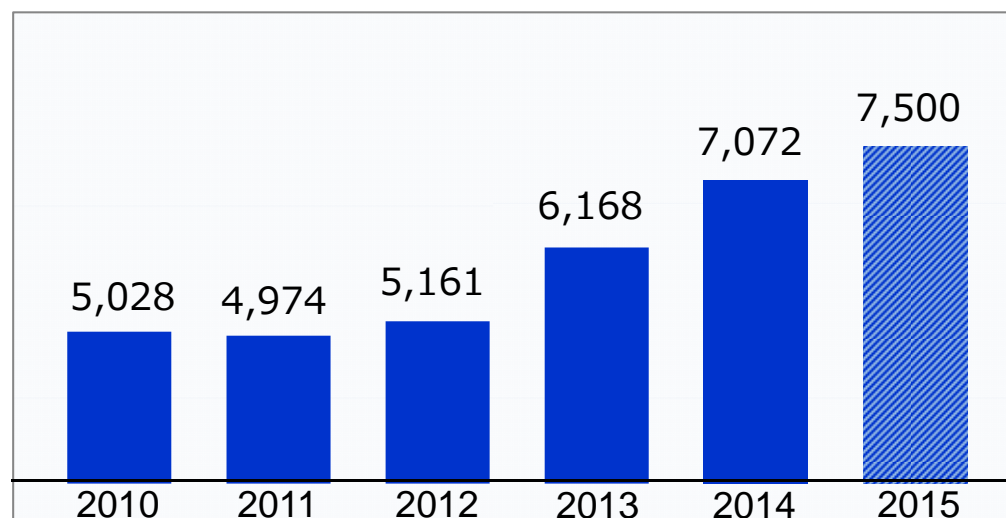
売上高 7,500億円

営業利益 580億円

営業利益率 7.7%

全事業、全地域での成長

- 新規事業・新規商品の育成・拡大
- 新興国での拡大
- グローバル戦略の推進
- M & A、アライアンスの推進



2016年3月期見通しのポイント

売上高

■ 7,600億円 (+7.5%)

中期計画達成に向けて、全事業・全地域で高い目標を設定

営業利益

■ 580億円 (+0.8%)

為替のマイナス影響や費用増を吸収し、前年並みを見込む

経常利益

■ 560億円 (+8.6%)

前期に計上した為替ヘッジや為替予約の損失がなくなる

税前利益

■ 545億円 (△16.7%)

前期にあった不動産売却益がなくなる

当期純利益

■ 355億円 (△34.2%)

特別利益や税効果会計の影響による低い法人税率などの
前期特殊要因がなくなる影響により、減益となる見通し

()は対前年増減率

＜すべての地域で積極的な販売投資を実行し、売上拡大を目指す＞

通信・プリンティング機器

- 先進国リテール市場維持
欧米主要国でのトップシェア維持
- 新興国売上の拡大
重点国へ全社的な支援を実施し
シェアの大幅拡大を目指す
- SMB向け売上の拡大
対象顧客を明確化し、売上の
拡大を目指す
- IJPは、先進国でのビジネス向け
拡大及び新興国での大容量タン
クモデルの拡販を目指す
- OEMビジネスの拡大



モノクロレーザー複合機



新興国向け
モノクロレーザープリンター

電子文具

- オフィス分野での安定成長の実現
- ソリューション分野での成長加速
- 新興国市場の拡大
- 新規カテゴリー 製品の投入
エアスカウター、テープクリエイター



ヘッドマウントディスプレイ
エアスカウター **WD-200S**
2015年秋発売予定



オリジナルデザインテープ作成機
TP-M5000N

サービス&ソリューションズ

- ハイエンド製品投入により、モバイルからハイエンドまで製品ラインアップを拡大
- 製品競争力の強化とソリューションの充実によるSMB向けの強化



デパートメンタルスキャナー
PDS-5000/6000
60/80PPM



ウェブ会議システム
OmniJoin

工業用マシン

- 高い縫い品質と生産性を実現する、本縫いマシン新モデルの投入により、中国・アジア市場でのシェア拡大を目指す
- ソリューション提案力を強化し、自動プログラムマシンの拡販を目指す
- ガーメントプリンター事業の拡大



自動プログラムマシン
BAS311-H



ガーメントプリンターGT-3

産業機器

- 戦略モデルの販売拡大に向け、代理店への技術サポートを拡充
- 中国・アジア地域でのショールーム及びサービス拠点の拡充
- 中国・アジア地域で販売リソースを強化し、自動車関連顧客を中心とする安定市場向けの売上を拡大

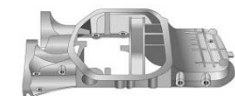


SPEEDIO S1000X1

自動車部品をはじめ、従来の主軸30番マシンでは加工ができなかった大型部品の加工が可能に



シリンダヘッド (トラック)



オイルパン

その他の事業の主な施策

brother
at your side

パーソナル&ホーム事業

- 中高級モデルの販売拡大
ミドルレンジモデル新製品の投入により、販売拡大を目指す
- 新興国での販売拡大
市場に合わせた販売戦略を実行し、売上の拡大を目指す
- クラフト事業の売上拡大
カッティングマシン新モデル投入により、顧客層の拡大を図る



ハイエンド刺しゅうマシン
Innov-is V8500D



ネットワーク&コンテンツ事業

- カラオケ稼働台数及びシェアアップ
新モデル投入により、着実なシェアアップを図る
- 直営店舗事業の拡大
M&Aや新規出店により、店舗売上の拡大を図ると共に、QSC*の徹底により、収益性の改善につなげる。
- ローコストオペレーションの徹底
経費削減を徹底し、必要な領域への経営資源の再配分を図る

JOYSOUND



*Quality, Service, Cleanness

工業用部品事業

- 国内減速機売上の拡大
高効率ギアモーター (IE3) の拡販による、国内売上の拡大
- 海外減速機売上の拡大
海外市場向け製品ラインアップの強化による海外売上の拡大
- ものづくり体制の強化
工場環境の整備により、生産能力の強化を図る



高効率ギアモーター



サーボ用精密減速機

	日付	ステータス
ドミノ社株主総会	4/15	承認
各国競争法審査 の承認	5月末(予定)	米国..完了 EU/中国..5月末予定
クロージング	6月11日(予定)	-
本件に関する IR説明会	8月初旬(予定)	東京開催

- ✓ 連結配当性向30%程度とする基本方針に変更なし
- ✓ 15年度配当は、年間36円へと2割増配。安定的な株主還元を実施

<配当性向の推移>



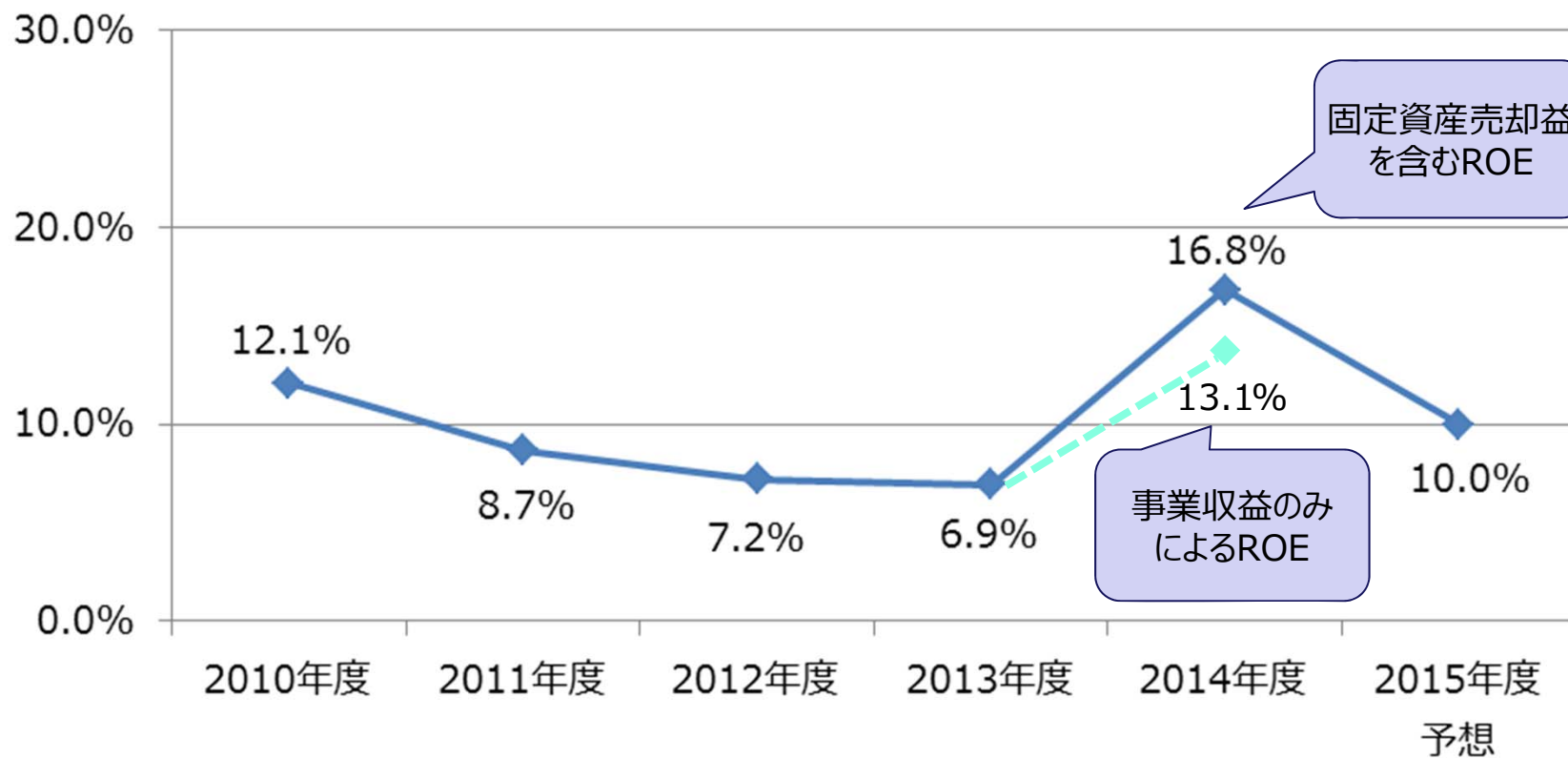
<総還元性向の推移>



*2013年の自社株取得32億円は、連結子会社化した株式会社ニッセイが保有していたブラザー工業株の取得によるもの

ROEの推移

✓ 特殊要因はなくなるものの、今年度のROEは約10%となる見通し



2015年3月期の決算内容と
2016年3月期の見通し

連結決算の概要 <2015年3月期 実績>



単位：億円

	通期実績			
	2015/3 実績	2014/3 実績	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	7,072	6,168	904	14.7% (9.5%)
営業利益	575	433	142	32.9%
営業利益率	8.1%	7.0%	1.1%	
営業外損益	△ 60	△ 77	17	
経常利益	516	356	159	44.8%
特別損益	138	△ 21	159	
法人税他	114	143	△ 29	
当期純利益	540	192	347	180.8%

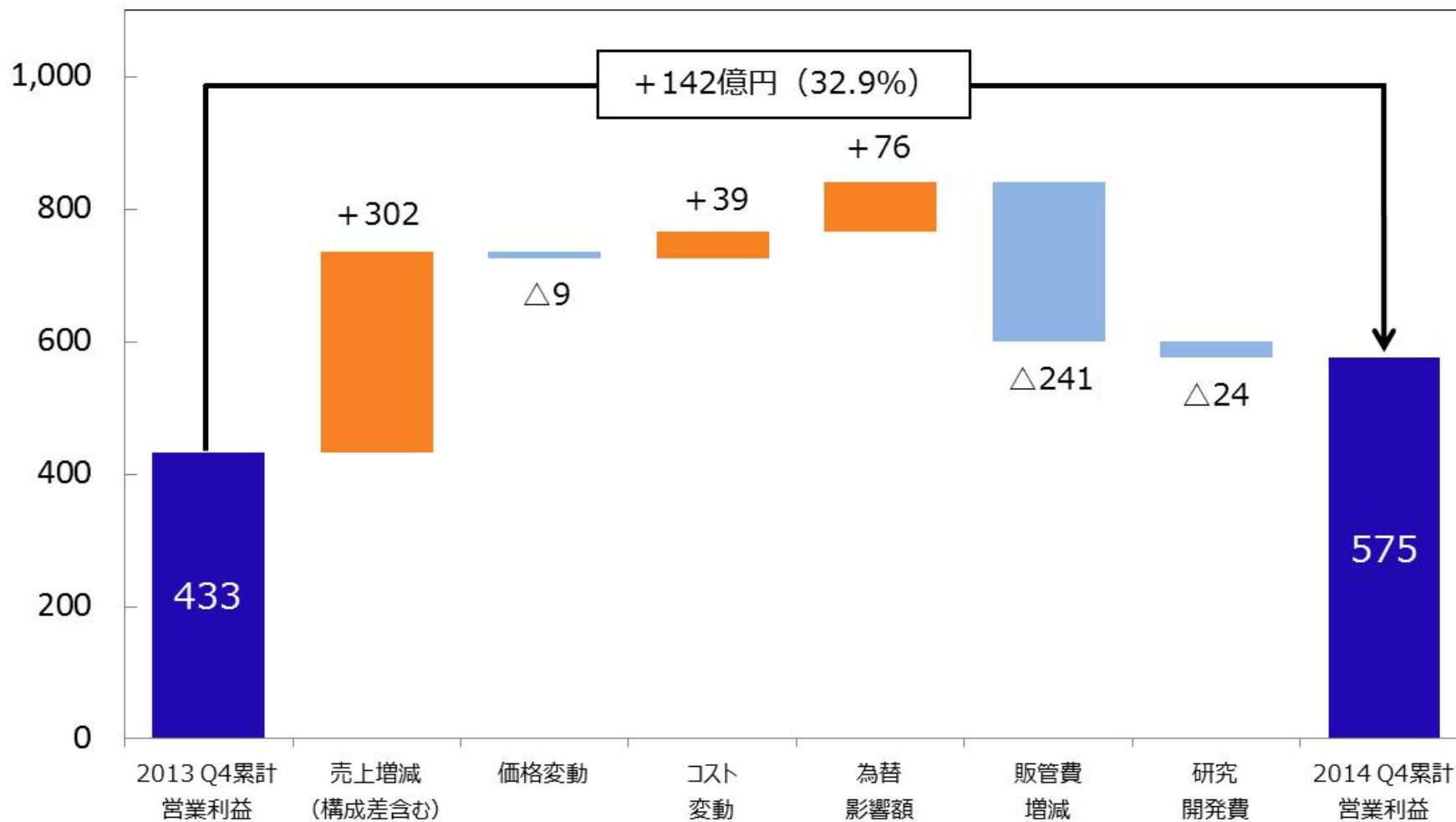
単位：円

換算レート	USD	110.03	100.00	10.03
	EUR	138.68	134.01	4.67

- ✓ 売上高は、産業機器及び家庭用マシンが売上拡大を牽引し、為替の円安効果もあり、増収となる
- ✓ 営業利益は、好調なM&S事業の増収効果に加え、為替の円安効果も加わり、増益となる
- ✓ 当期純利益は、固定資産売却益や税効果会計の影響などもあり、大幅な増益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 実績>

単位：億円

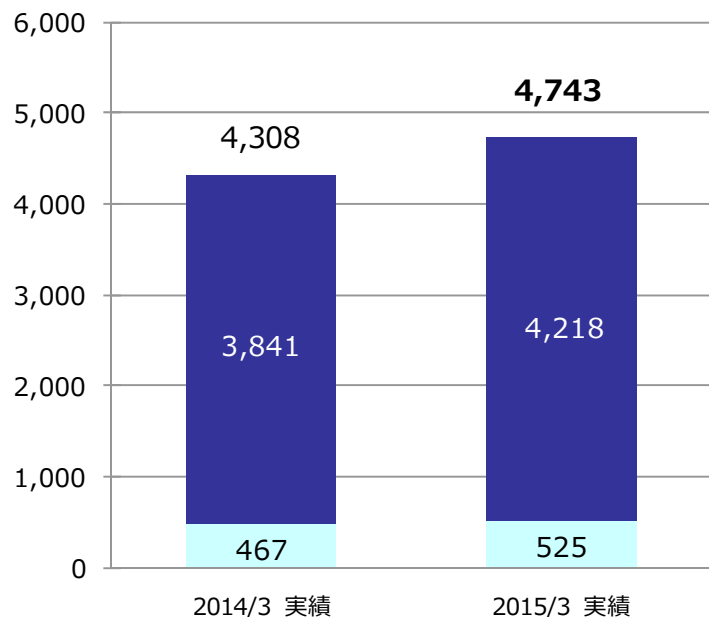


プリンティング & ソリューションズ 事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 実績>



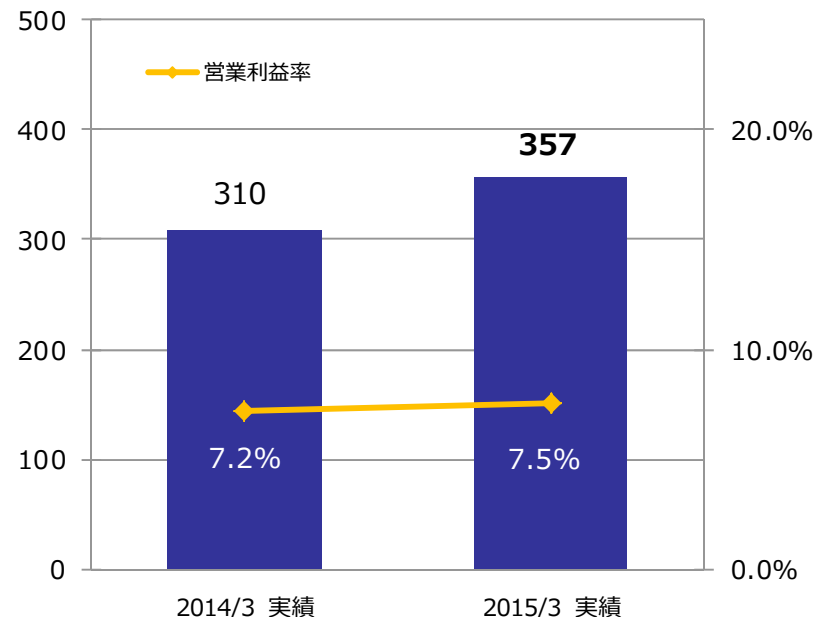
売上高 (億円)



営業利益 (億円)

増減率 (為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+9.8% (+4.2%)
電子文具	+12.4% (+5.7%)
合計	+10.1% (+4.3%)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	1,504	1,680	+11.7% (+3.5%)
欧州	1,327	1,417	+6.8% (+2.6%)
アジア他	579	694	+19.8% (+13.4%)
日本	431	427	△0.9% (△0.9%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	216	253	+17.2% (+7.9%)
欧州	147	158	+7.3% (+2.7%)
アジア他	62	78	+26.0% (+19.2%)
日本	42	35	△15.2% (△15.2%)

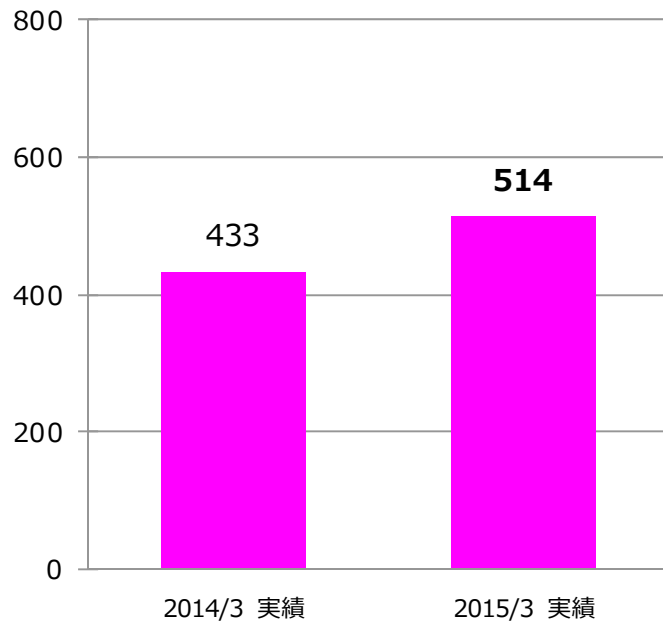
- アジア他地域で、製品本体が堅調に伸びたほか、各地域とも消耗品が堅調に推移。日本は、消費増税の反動減による需要低迷が続く、前年割れの水準となる
- 営業利益は、販売管理費の増加が圧迫要因となったものの、増収効果および為替のプラス影響により、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

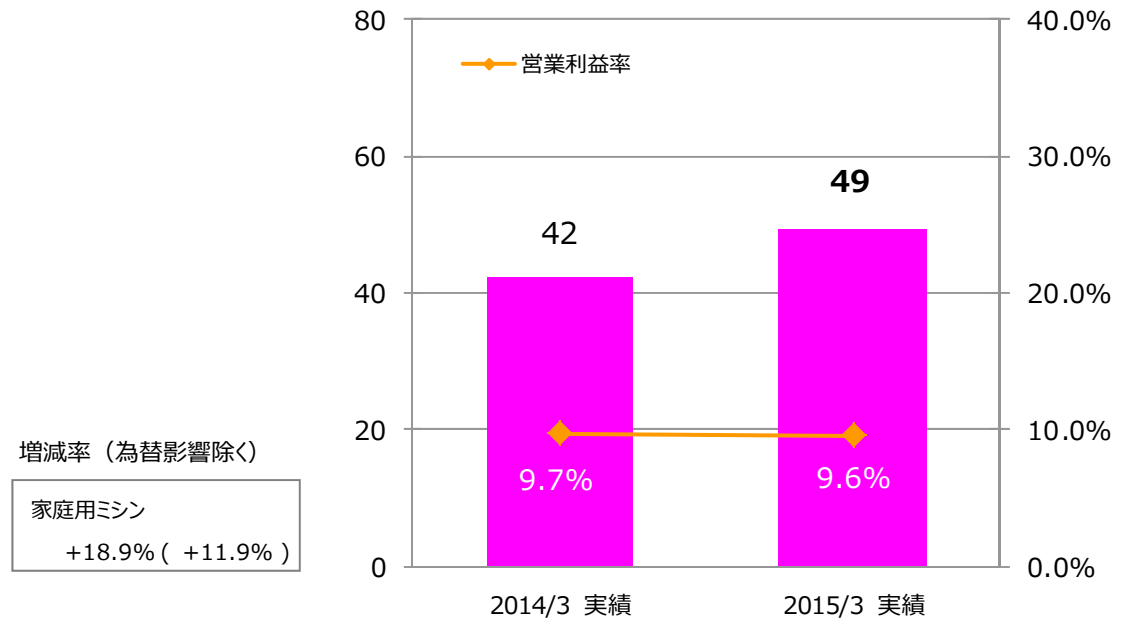
パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)
家庭用ミシン
+18.9% (+11.9%)

家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	229	296	+29.3% (+18.9%)
欧州	107	111	+4.3% (+0.8%)
アジア他	46	60	+28.3% (+22.7%)
日本	51	48	△6.0% (△6.0%)

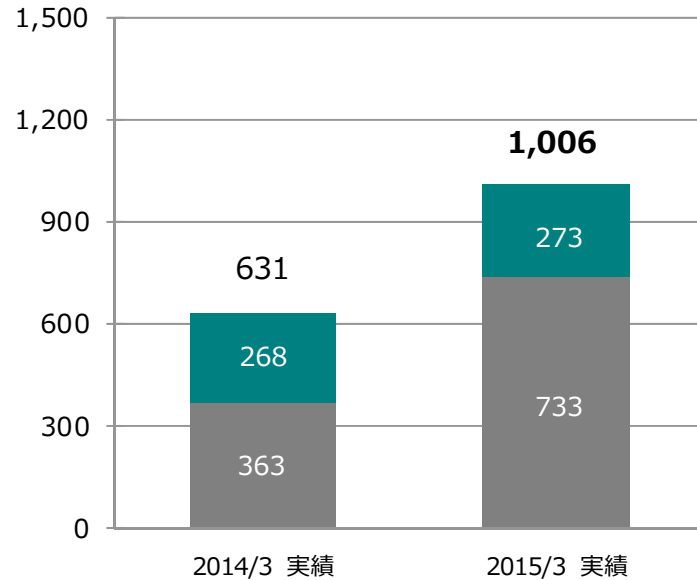
- 売上高は、高級機の新製品効果もあり、米州での売上が好調に推移
- 営業利益は、増収効果に新製品効果も加わり、増益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

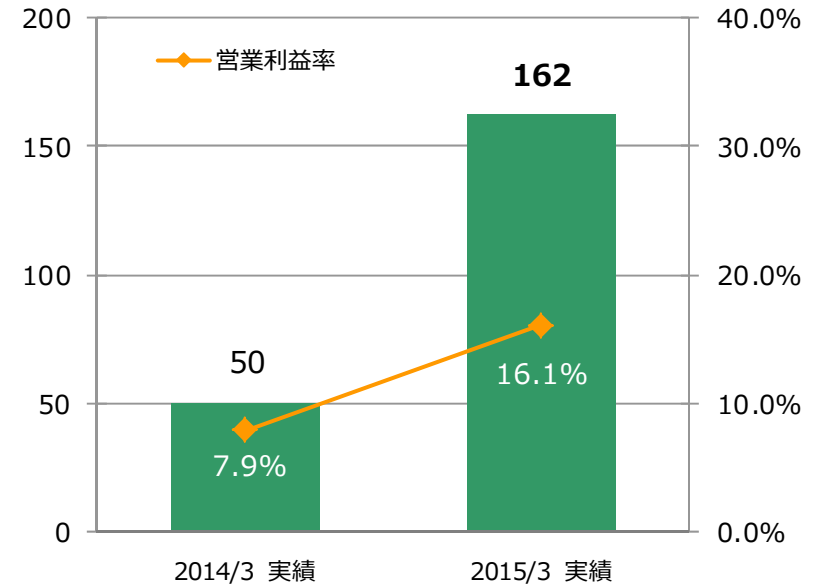
マシナリ&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	+1.9% (△5.7%)
産業機器	+101.9% (+96.9%)
合計	+59.5% (+53.4%)

工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	45	54	+19.3% (+9.5%)
欧州	38	43	+13.9% (+10.1%)
アジア他	178	169	△5.0% (△13.1%)
日本	7	7	+2.9% (+2.9%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率
米州	21	29	+33.0%
欧州	16	23	+49.0%
アジア他	282	622	+120.7%
日本	44	59	+34.3%

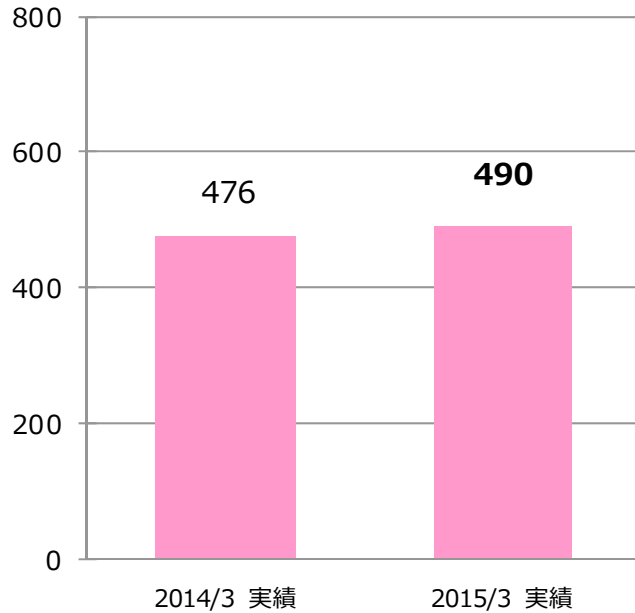
- ▶ 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業の設備投資需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響が大きく、実質では前年割れとなる
- ▶ 産業機器は、IT関連顧客の需要拡大や、自動車関連顧客への販売強化の効果もあり、大幅な増収となる
- ▶ 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 実績>

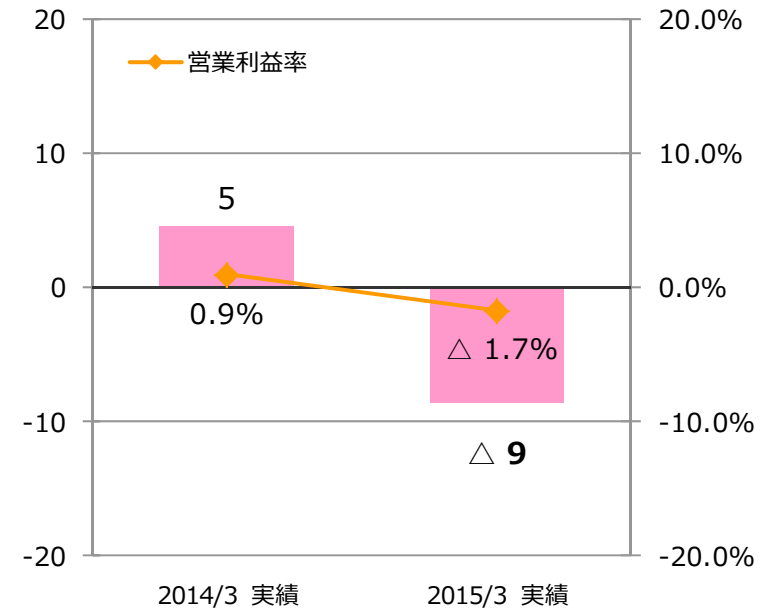


売上高 (億円)



増減率
N&C事業
+2.9%

営業利益 (億円)



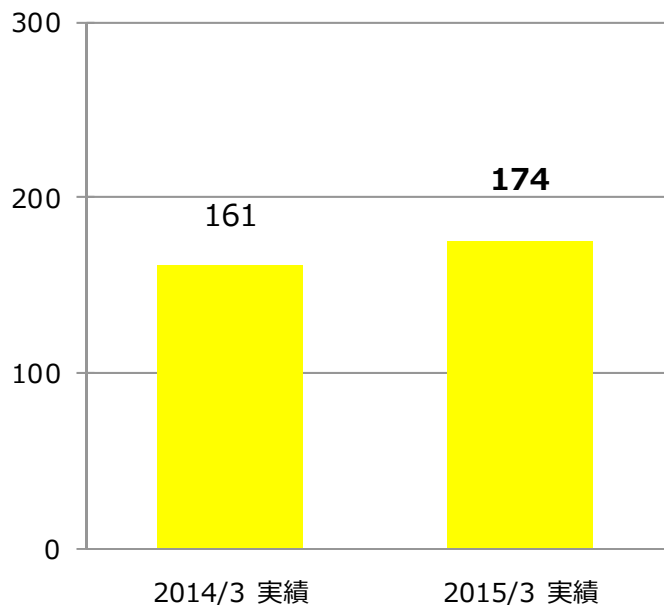
- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、前年比微増となる
- 営業利益は、機器販売の減小に加え、開発費などの費用の増加の影響もあり、赤字となる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

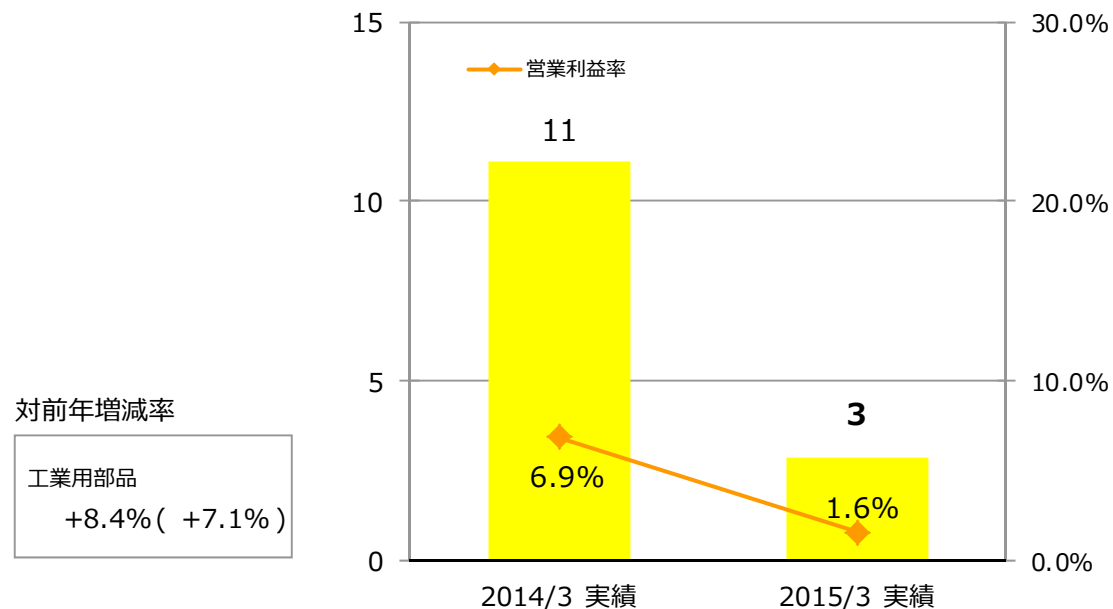
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 実績>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率
工業用部品
+8.4% (+7.1%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 実績	2015/3 実績	増減率(為替影響除く)
米州	20	23	+12.4% (+2.6%)
欧州	0	0	- (-)
アジア他	0	5	- (-)
日本	141	147	+4.5% (+4.5%)

- 売上高は、日本での需要が堅調なことに加え、北米での販売強化もあり、順調に拡大
- 営業利益は、償却費などの費用の増加の影響などにより、減益となる

2016年3月期 業績予想

単位：億円

	2016/3 予想	2015/3 実績	増減額	増減率
売上高	7,600	7,072	528	7.5% (7.6%)
営業利益	580	575	5	0.8%
営業利益率	7.6%	8.1%	△0.5%	
営業外損益	△ 20	△ 60	40	
経常利益	560	516	44	8.6%
特別損益	△ 15	138	△ 153	
法人税他	190	114	76	
親会社株主に帰属する当期純利益	355	540	△ 185	△34.2%

単位：円/%

換算レート	USD	115.00	110.03	4.97
	EUR	125.00	138.68	△ 13.68

業績予想の主なポイント

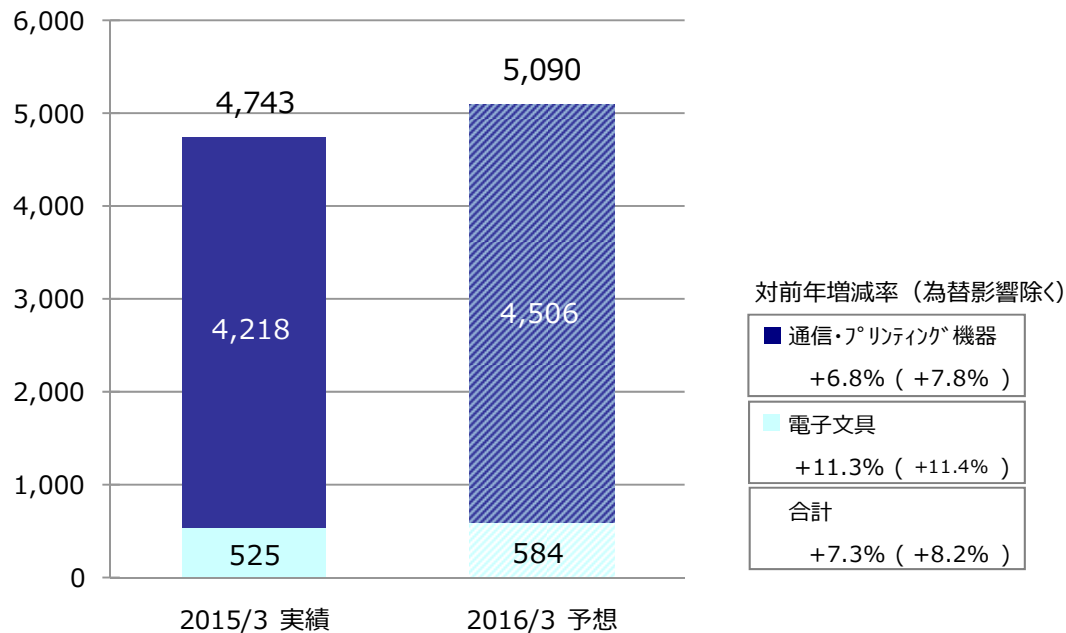
- ✓ 積極的な販売施策の実行により、P&S事業を中心に全事業において大幅な増収を目指す
- ✓ 売上拡大により為替のマイナス影響を吸収し、前年並みの営業利益を目指す
- ✓ 不動産売却益などの前期特殊要因がなくなる影響により純利益は大幅減となるものの、ROEでは10%となる見通し

プリンティング & ソリューションズ 事業

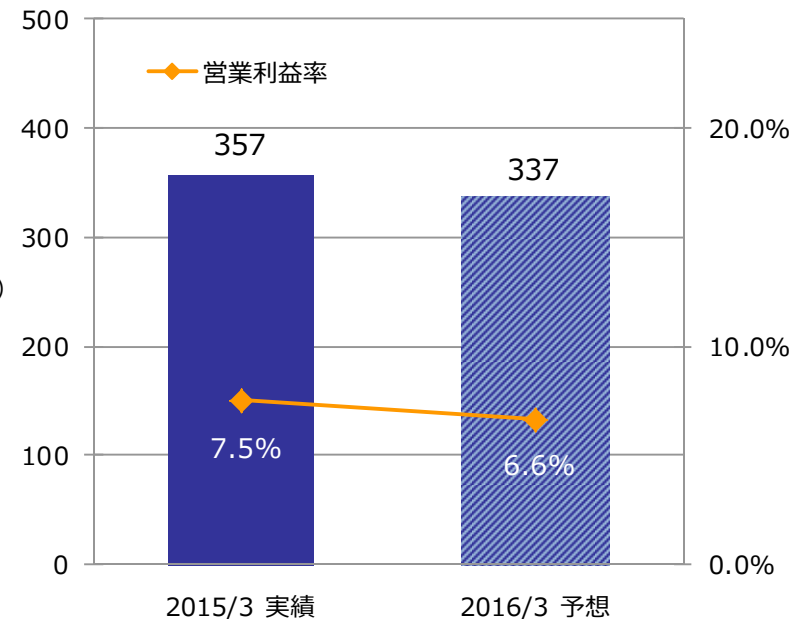
売上高・営業利益 <2016年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	1,680	1,898	+13.0% (+9.8%)
欧州	1,417	1,316	△ 7.1% (+1.6%)
アジア他	694	855	+23.3% (+19.2%)
日本	427	437	+2.2% (+2.2%)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

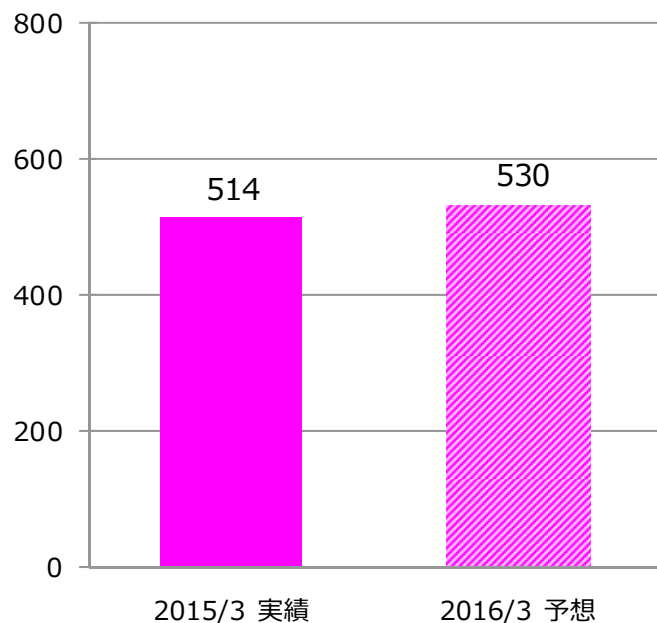
	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	253	292	+15.3% (+11.6%)
欧州	158	150	△ 4.7% (+3.9%)
アジア他	78	93	+19.0% (+14.2%)
日本	35	48	+37.4% (+37.4%)

- 売上高は、すべての地域で積極的な販売投資を実行し、増収を目指す
- 営業利益は、為替のマイナス影響に加え、販促コストの増加などの圧迫要因もあり、減益となる見通し

パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2016年3月期 通期予想>



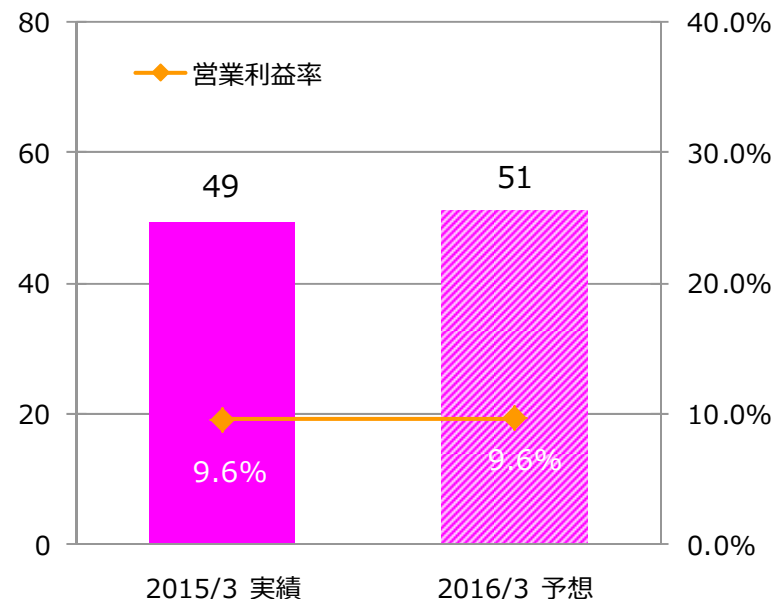
売上高 (億円)



対前年増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+3.0% (+2.9%)

営業利益 (億円)



家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

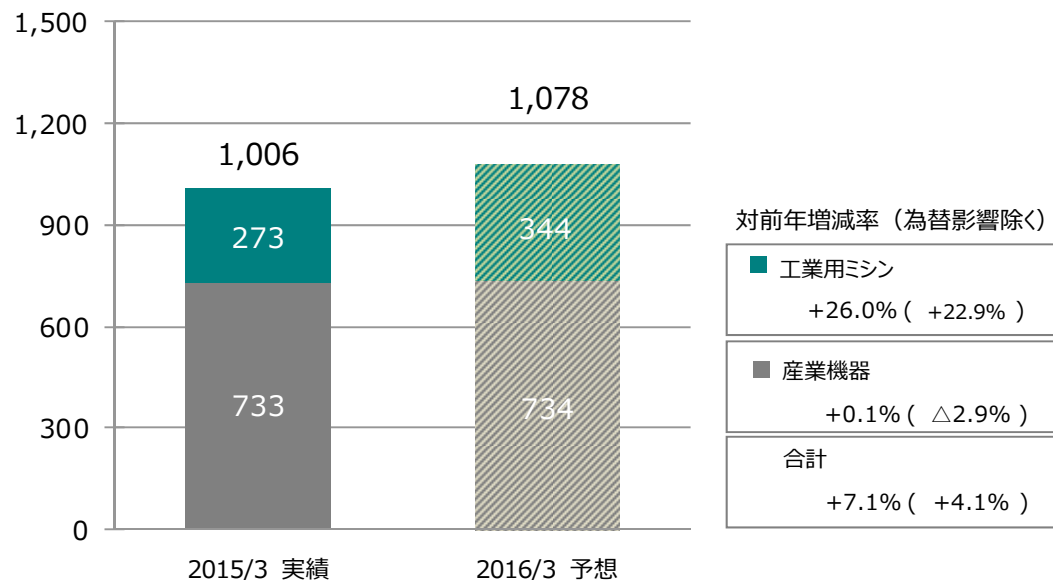
	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	296	309	+4.4% (+0.7%)
欧州	111	106	△4.8% (+6.0%)
アジア他	60	74	+24.2% (+20.8%)
日本	48	41	△13.7% (△13.7%)

- 欧米は既存顧客向けの中高級モデル新製品を投入し、売上の拡大を目指す
- アジア他地域は、新製品の投入や、販売チャネルの強化などにより、大幅増収を目指す
- 営業利益は、研究開発費の増加や販管費の増加などにより、微増益にとどまる見通し

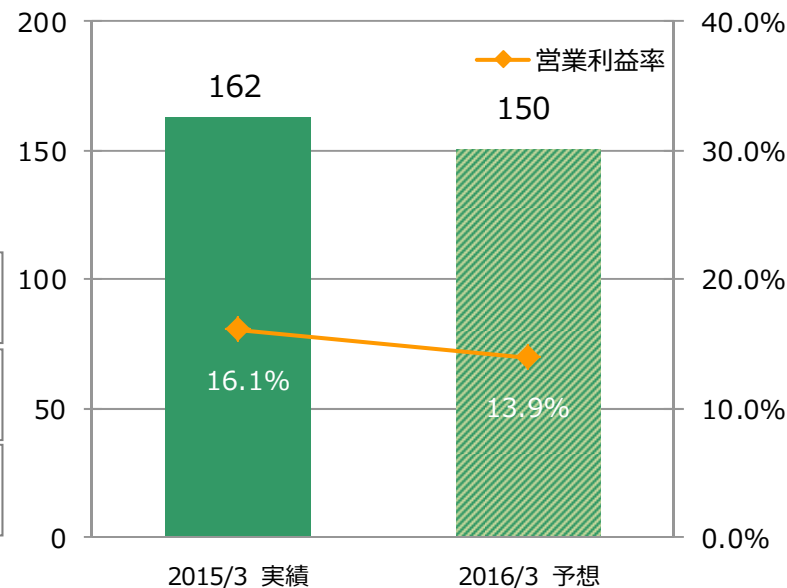
マシナリー&ソリューション事業 売上高・営業利益 <2016年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	54	59	+10.1% (+5.3%)
欧州	43	44	+2.3% (+13.5%)
アジア他	169	235	+38.7% (+32.3%)
日本	7	6	△13.5% (△13.5%)

産業機器 地域別売上高内訳 (億円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率
米州	29	30	+6.1%
欧州	23	29	+22.8%
アジア他	622	608	△2.3%
日本	59	67	+13.1%

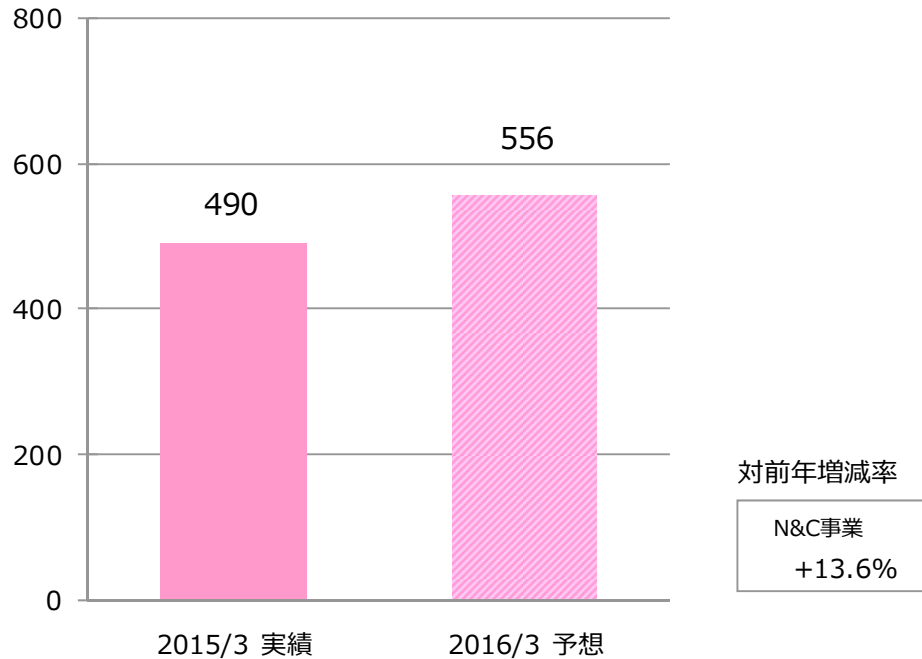
- 工業マシンは、本縫い機新モデルの投入や、自動機・ガーメントプリンターの拡販により、売上及び利益の拡大を目指す
- 産業機器は、販売・サービスの強化により戦略商品を拡販し、中国・アジアの安定市場向けの売上拡大を目指す
- 営業利益は、主に産業機器の販売拠点の強化等の費用増の影響により、減益となる見通し

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

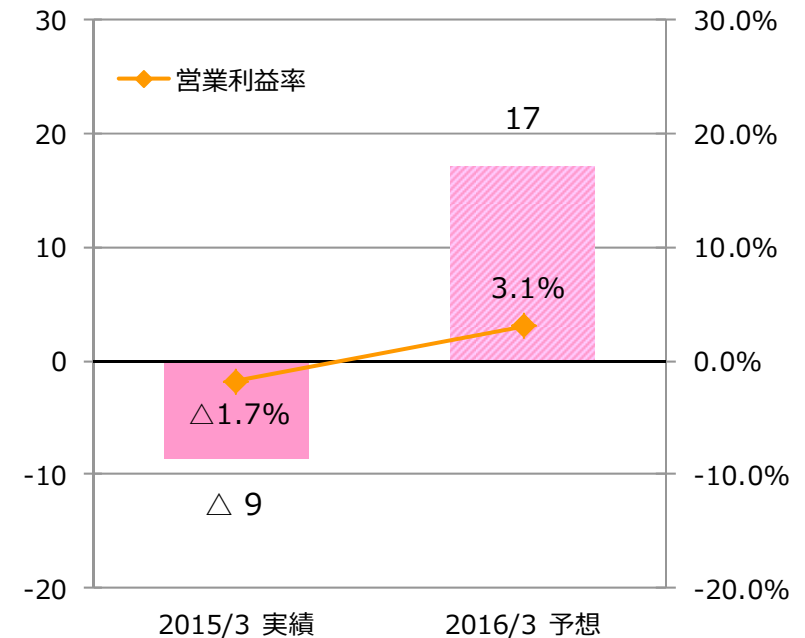
ネットワーク&コンテンツ事業 売上高・営業利益 <2016年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



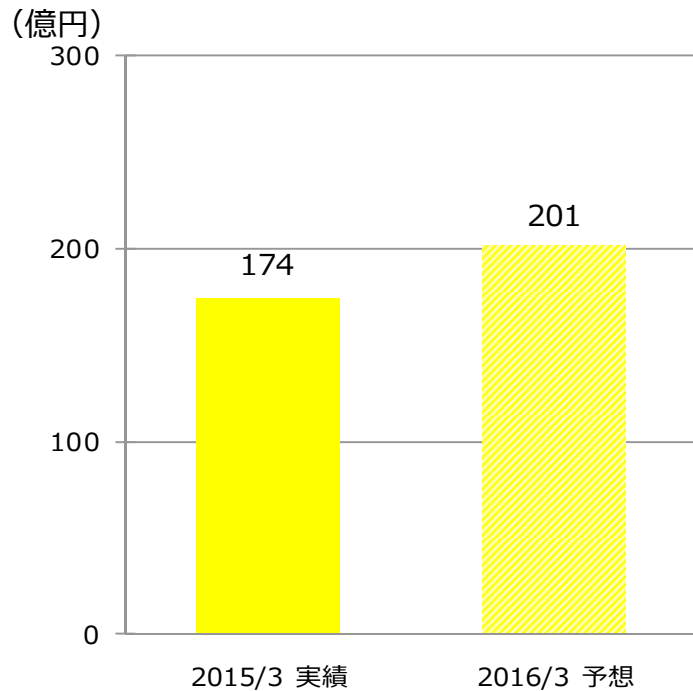
- カラオケ機器新モデルの投入により、売上・営業利益とも増加を見込む
- 店舗事業は、不採算店舗の撤退やローコストオペレーションの徹底により、収益改善を見込む

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

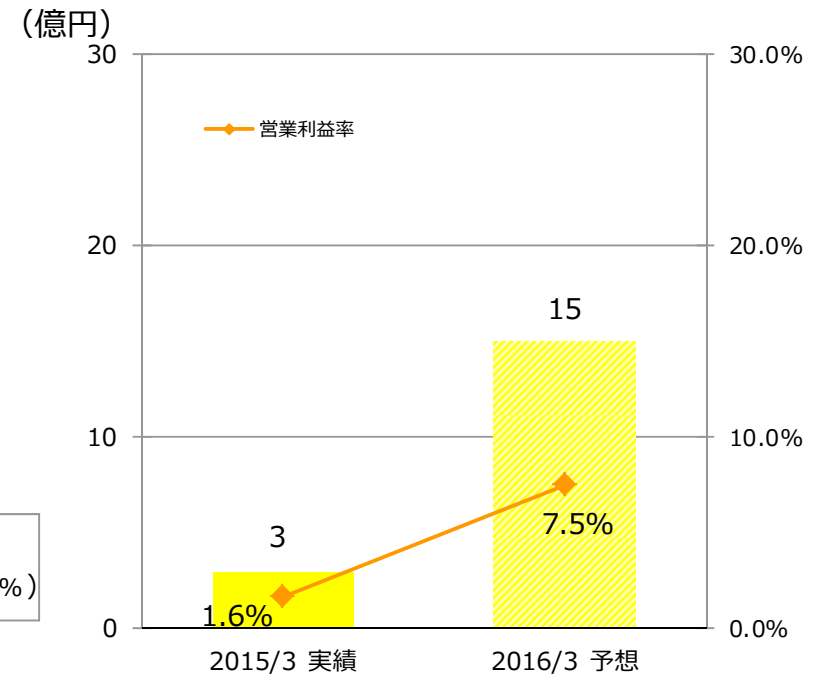
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2016年3月期 通期予想>



売上高



営業利益



対前年増減率
工業用部品
+15.2% (+14.2%)

工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2015/3 実績	2016/3 予想	対前年増減率 (為替影響除く)
米州	23	28	+22.9% (+17.5%)
欧州	0	0	- (-)
アジア他	5	19	+309.5% (+298.7%)
日本	147	154	+4.8% (+4.8%)

- 国内では、規制改正を受け、高効率ギアモーターの販売増を目指す
- 海外では、専用モデルの投入などにより、北米・アジアでの売り上げ増を目指す

連結決算の概要 <2015年3月期 4Q（1-3月実績）>



単位：億円

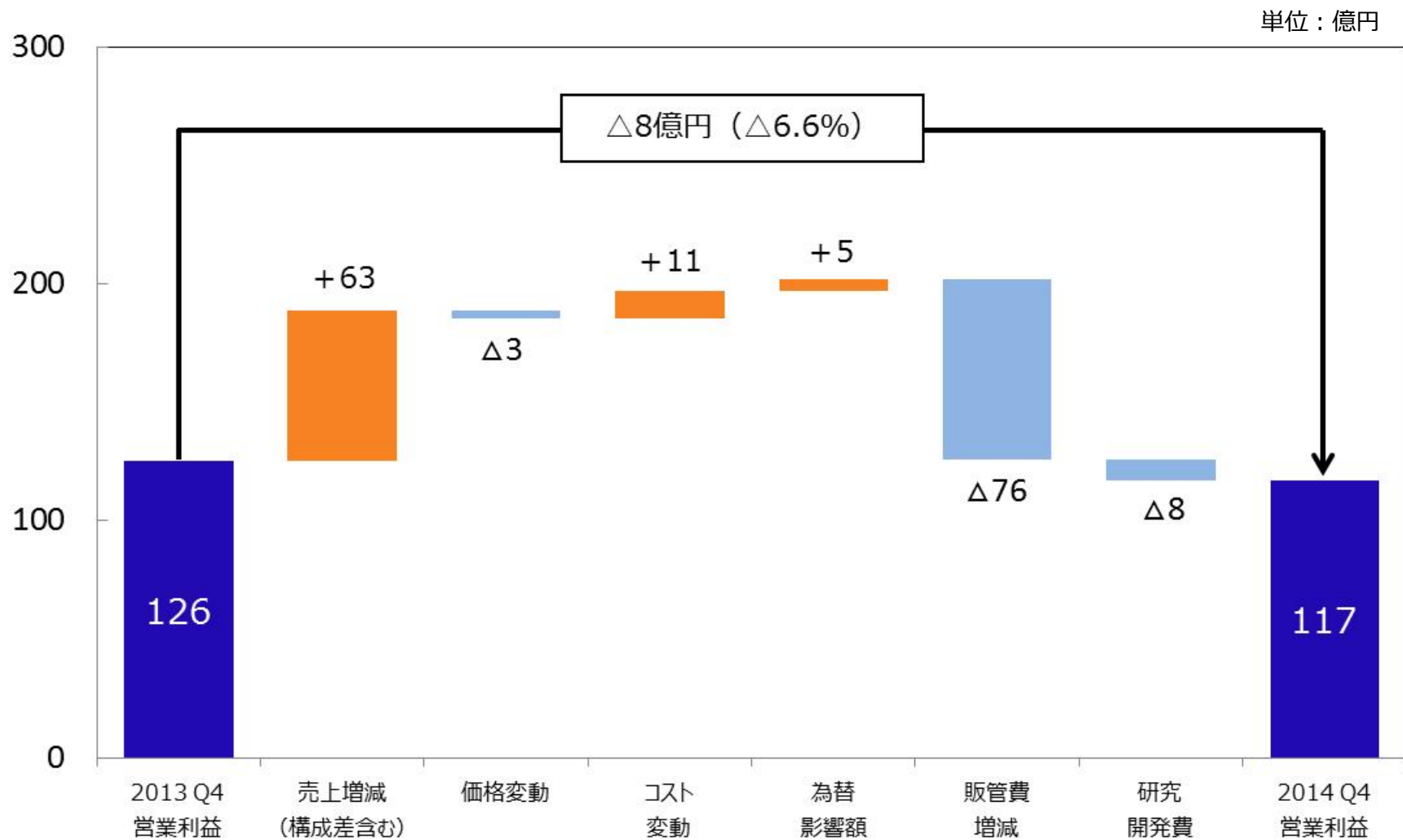
	【参考】第4四半期 3ヶ月間			
	2015/3 4Q（3ヶ月実績）	2014/3 4Q（3ヶ月実績）	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,858	1,650	208	12.6% (7.0%)
営業利益	117	126	△ 8	△6.6%
営業利益率	6.3%	7.6%	△1.3%	
営業外損益	△ 26	△ 11	△ 15	
経常利益	92	115	△ 23	△20.1%
特別損益	△ 14	△ 22	8	
法人税他	19	19	0	
当期純利益	59	74	△ 15	△20.4%

単位：円

換算レート	USD	119.56	103.28	16.28
	EUR	136.10	141.47	△ 5.37

- ✓ 売上高は、産業機器が好調に推移したことに加え、為替の円安効果もあり、二桁の増収となる
- ✓ 営業利益は、M&Sの増収効果はあるものの、主にP&S事業における販売費用等の増加により、減益となる

営業利益増減要因 <2015年3月期 4Q（1-3月実績）>

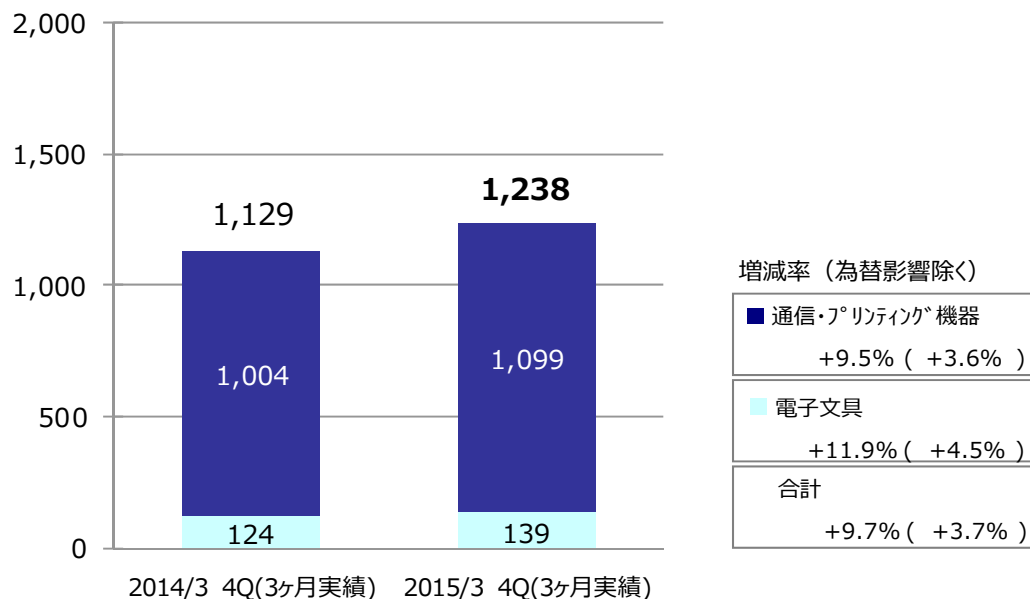


プリンティング & ソリューションズ 事業

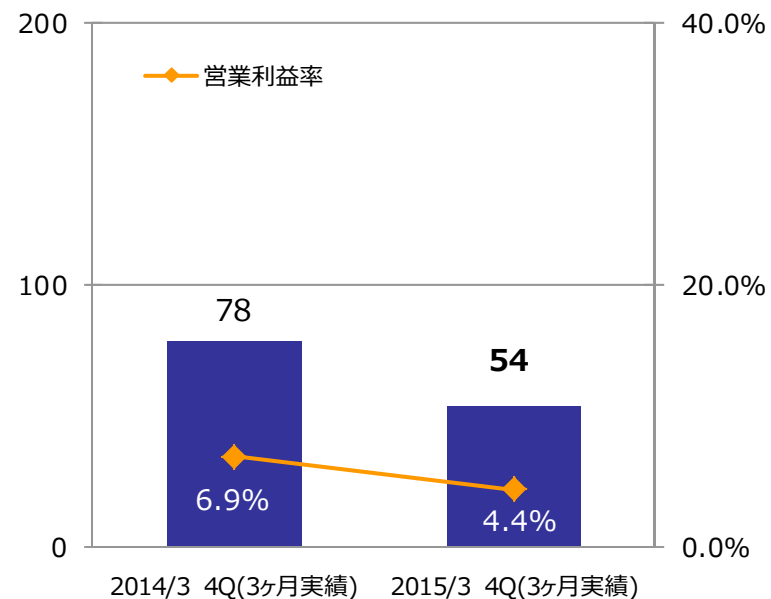
売上高・営業利益 <2015年3月期 4Q(1-3月実績)>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳 (億円)

電子文具 地域別売上高内訳 (億円)

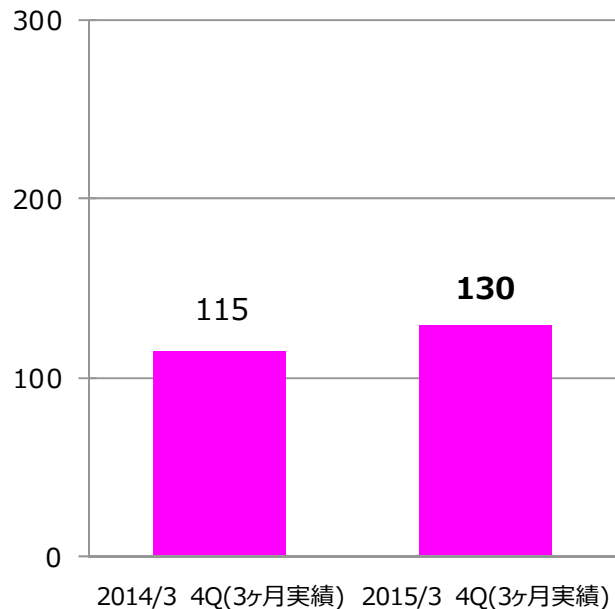
	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)		2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	379	446	+17.7% (+3.9%)	米州	54	68	+25.7% (+10.2%)
欧州	377	376	△ 0.4% (+1.3%)	欧州	43	42	△ 3.0% (△1.4%)
アジア他	143	167	+16.1% (+7.2%)	アジア他	15	18	+21.8% (+12.1%)
日本	105	111	+5.9% (+5.9%)	日本	12	11	△ 9.5% (△9.5%)

- 積極的な販売施策の実施により、各地域とも前年比で増収を達成
- 営業利益は、販売管理費の増加の影響などにより、減益となる

※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

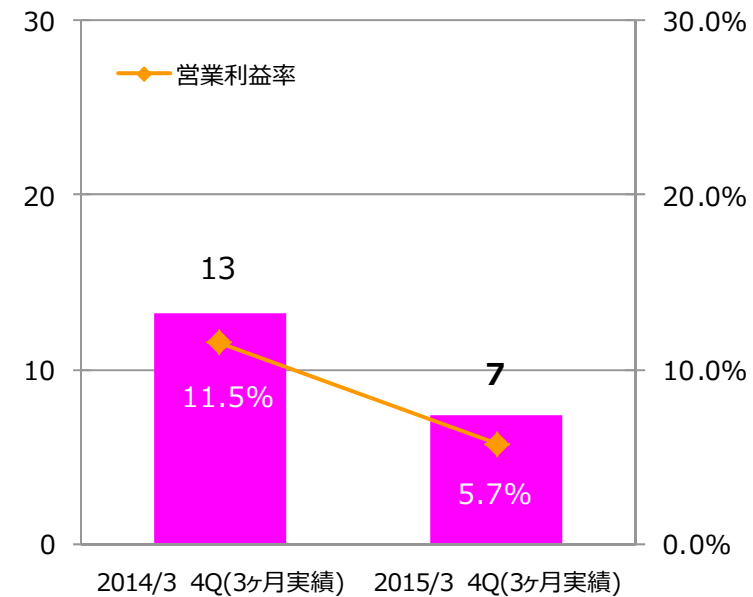
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



増減率 (為替影響除く)

家庭用ミシン
+12.7% (+5.6%)

家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	54	70	+30.4% (+15.0%)
欧州	30	28	△7.1% (△3.9%)
アジア他	11	14	+23.9% (+16.3%)
日本	20	17	△11.9% (△11.9%)

- 売上高は、高級機の新製品効果もあり、米州での売上が好調に推移
- 営業利益は、販管費の増加の影響により、減益となる

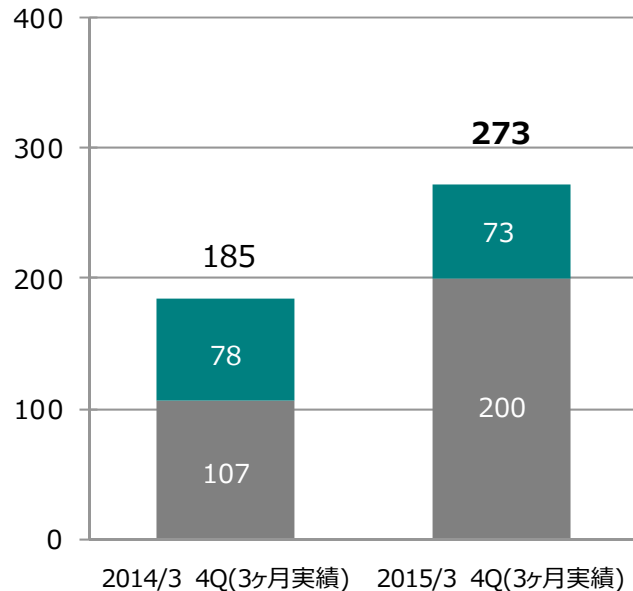
※当期における連結範囲の変更に合わせて、前期まで「日本」で表示していた数値の一部を、「アジア他」へ組み替えて表示しております。

マシナリ&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2015年3月期 4Q(1-3月実績)>



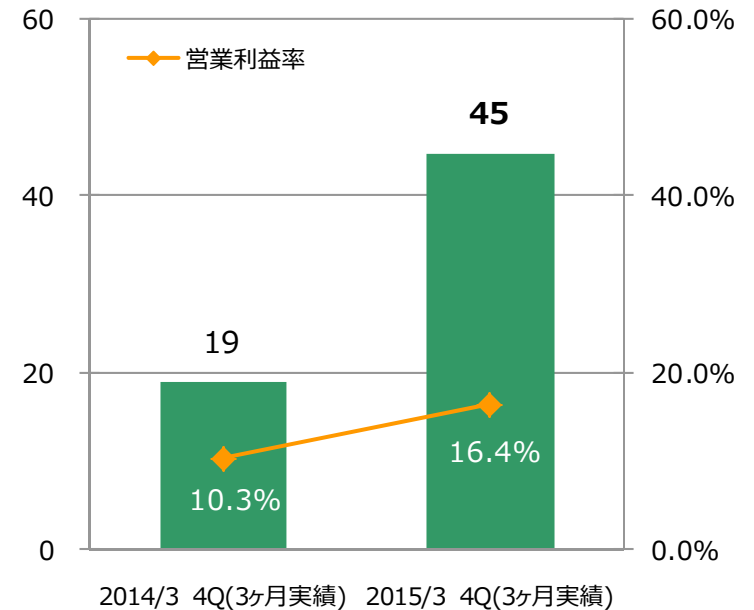
売上高 (億円)



増減率 (為替影響除く)

工業用マシン	△6.3% (△16.0%)
産業機器	+87.1% (+80.1%)
合計	+47.7% (+39.6%)

営業利益 (億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	10	14	+33.2% (+15.6%)
欧州	11	11	+0.1% (+3.6%)
アジア他	54	46	△15.1% (△26.3%)
日本	2	2	△5.1% (△5.1%)

産業機器

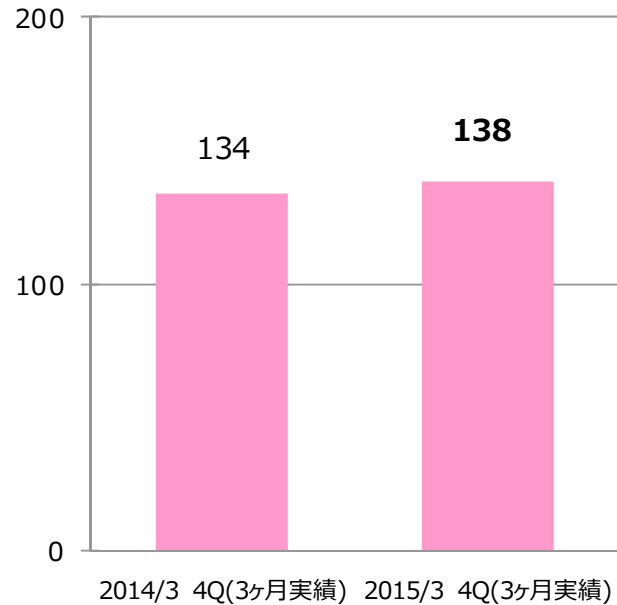
地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率
米州	5	7	+29.4%
欧州	4	5	+23.1%
アジア他	81	171	+109.9%
日本	16	17	+5.6%

- 工業用マシンは、東南アジア及び欧米の縫製産業の設備投資需要の拡大はあるものの、中国の需要低迷の影響が大きく、減収となる
- 産業機器は、IT関連顧客の需要拡大や、自動車関連顧客への販売強化の効果もあり、大幅な増収となる
- 主に産業機器の増収に伴い、大幅な増益となる

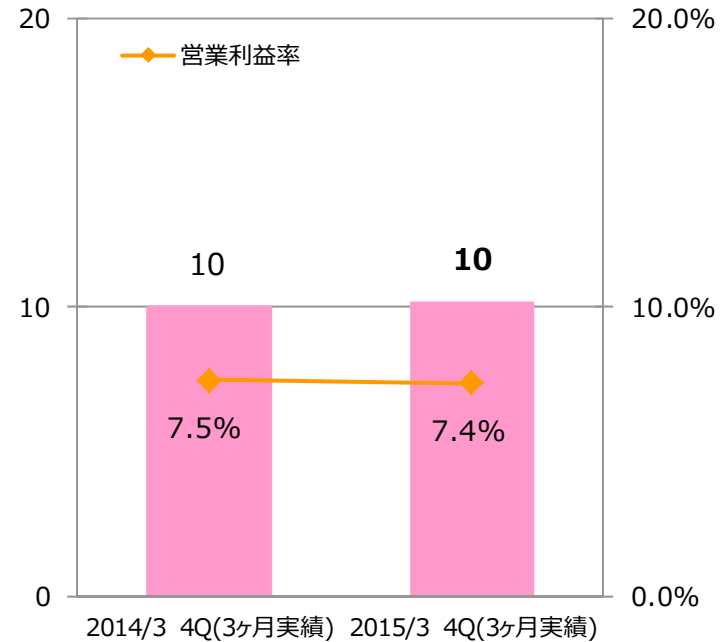
※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

売上高 (億円)



増減率
N&C事業
+3.1%

営業利益 (億円)



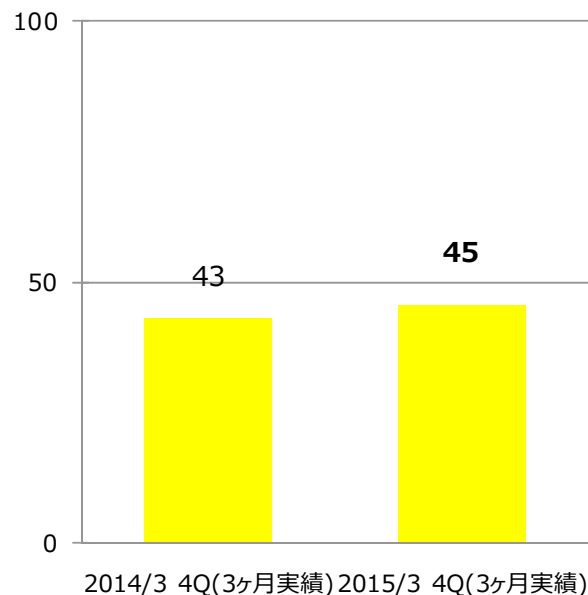
- 売上高は、カラオケ店舗の運営事業は堅調なもの、通信カラオケ機器の需要サイクルの影響もあり、小幅増収となる
- 営業利益は、前年並みとなる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

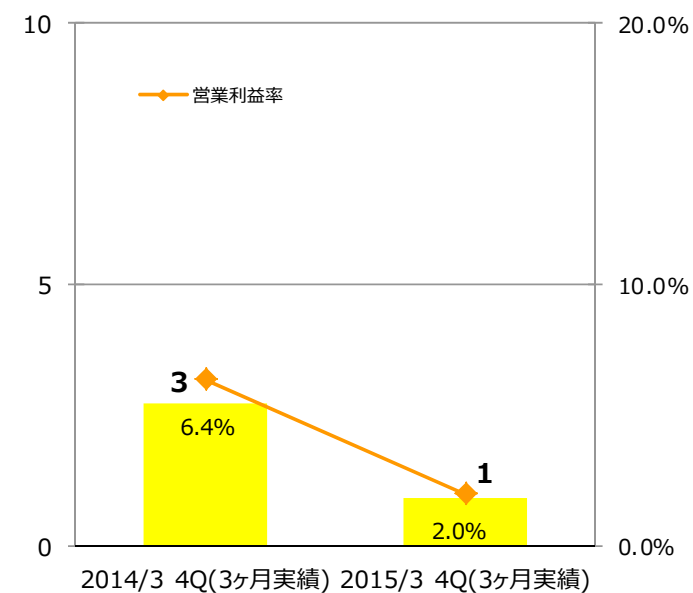
工業用部品事業 売上高・営業利益 <2015年3月期 4Q(1-3月実績)>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



対前年増減率
+5.6% (+3.9%)

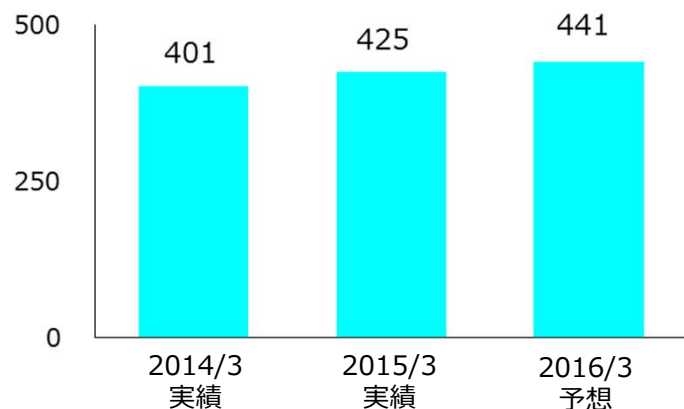
工業用部品 地域別売上高内訳 (億円)

	2014/3 4Q(3ヶ月実績)	2015/3 4Q(3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	5	5	△1.7% (△15.3%)
欧州	0	0	- (-)
アジア他	0	1	- (-)
日本	38	39	+3.4% (+3.4%)

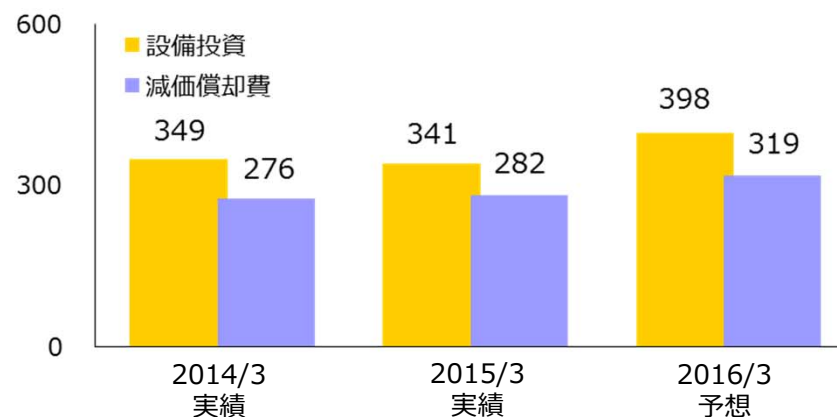
- 売上高は、ほぼ前年並みとなる
- 営業利益は、償却費などの費用の増加の影響などにより、減益となる

研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産

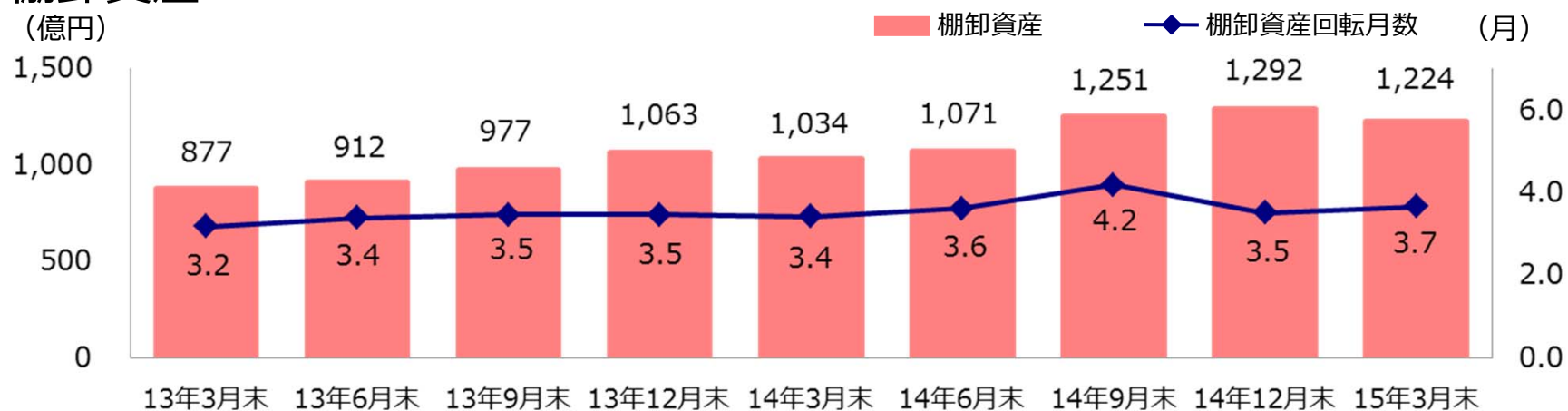
研究開発費 (億円)



設備投資・減価償却費 (億円)



棚卸資産 (億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side